



家畜保健衛生所だより



R8.3.12

静岡県富士宮市で豚熱（CSF）が発生 （国内 102 例目、静岡県初）

3月11日、静岡県富士宮市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。静岡県の養豚場で豚熱が発生するのは今回が初めてです。静岡県では、2019年以降、野生イノシシでCSF豚熱の感染が拡大し、2026年2月までの約5年間で639頭の陽性個体が確認されています。本県においても、野生イノシシでの感染拡大が続いていることから、養豚場への侵入リスクが極めて高い状況です。

【農場所在地】 静岡県富士宮市

【飼養頭数】 約1,550頭、650頭(同市の関連農場)

【経緯】 3月10日:農場から離乳豚に異状がみられるとの通報があり検査実施
CSFの疑いが生じたため国※による精密検査を実施

3月11日:患畜決定(精密検査陽性) ※農研機構動物衛生研究部門

豚熱は現在使われているワクチンだけでは完全に防ぐことはできません。飼養衛生管理基準の遵守状況を定期的に確認することで農場のバイオセキュリティを向上させることが重要です。

ウイルス持ち込み防止のための対策

① 人・物・車両

- 衛生管理区域や豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 豚舎専用の衣服・靴の設置と使用の徹底
- 人・物の出入りの記録

② 野生動物

- 壁・金網・防鳥ネット等の破損個所の修繕
- 飼料保管場所等への侵入防止・排泄物等の混入防止
- 豚舎周囲の清掃、草刈り、整理整頓
- 死亡家畜の処理までの間の適切な保管

飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします。

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。**発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等**の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)